



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.  
THE Y'S MEN'S CLUB OF NANZAN



- 国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」
- アジア会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 西日本区理事主題 「ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！」
- 中部部長主題 「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」
- クラブ会長主題 「楽しい集いを YMCAと共に」

2016年9月

*"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"*

会 長 杉山 弘時      副 会 長 深尾 俊雄      書 記 荒川 文門  
会 計 森本 征夫      直前会長 都築 正和      連絡主事 東田 美保



今月の聖句

「平和な人には未来がある」

(詩編 37 : 37)

9月例会案内

第一例会

日 時 : 9月8日 (木) 18:45~20:45  
場 所 : ラ・スース・アン 中区丸の内3-5-27  
卓 話 : 「クラブ運営の原理・原則」  
講 師 : 岡本 尚男 氏 (京都キャピタルクラブ)  
東海クラブとの合同例会で場所も東海クラブの例会会場です。講師に元日本区理事の岡本尚男氏をお迎えし表題のクラブ運営についてのお話をお伺いします。岡本さんは、ワイズなら西、東を問わず超有名なワイズマンであり、クラブの皆さんも十分その名前はご存じだと思います。南山クラブのメンバー数は少なく、本当の意味でワイズメンのクラブ活動をしているかどうか、岡本さんの話をお伺いし考えてみましょう。ロースター、ワイズ読本を資料としてご持参下さい。

第二例会

日 時 : 9月15日 (木) 19:00~  
場 所 : 南山YMCA  
議 事 : 1. 10月例会について  
2. 秋の主要プログラムの詳細、役割分担  
3. その他

第3回YMCA大会

日 時 : 9月24日 (日)  
場 所 : 浩養園  
大 会 : 15:00~17:00 於 3階スターホール  
第1部 開会礼拝、永年会員表彰、  
第2部 講演  
分かち合おう! YMCAブランディングプロジェクトについて  
第3部 ユースボランティア報告  
懇親会 : 17:15~19:30 於 2階 五合庵  
参加費 : 大会参加 無料 懇親会 5,500円

第72回ワイズメンズクラブ国際大会に参加して

都築正和

先ず国際大会参加の報告より台湾ベータークラブ・韓国サーインチョンクラブとのトライアングルIBC交流の印象が強く旅行記になってしまうことにお詫びとお許しを。

8月3日 (大会は8月4日~7日)

近藤メン・浅井メン・木滑さん (ゲスト) 私の計4名で出発。事前に急遽韓国サーインチョンクラブが国際大会に参加するとの連絡が台湾ベータークラブよりあり8月5日21:00よりベータークラブの主催で

8月報告	在籍9名	第1例会出席	第2例会出席	メイクアップ	出席率
		8名	8名	0名	100%

懇親会を開くことになりました。(サーインチョンクラブは大会参加の事前申込みは無かったようです。参加名簿にサーインチョンクラブメンバーの名前は記載がありません)サーインチョンクラブとのIBC締結は古く、交流も続いていましたが、ここしばらくはクリスマスカードの交換程度で活動実態もメンバー数も不明の為久々交流で楽しみです。プレゼント担当の近藤メンは急遽両クラブのプレゼントを用意、重さと大きさに閉口しているようでした。ホテルに到着後4名で市内観光と思っていたところ、昼過ぎに邱さんが突然ホテルまで迎えに来てくれ、市内観光へと向かいました。台湾に来て一度は訪れたかった東洋一を誇る「台北101」展望台から一望する台北市内に感動を覚えたり、赤サンゴで作られた数百万もする宝飾品に目を奪われたりと驚きの連続でした。ショッピングモールでもある「台北101」大変賑やかでした。夕食はベータークラブ主催の歓迎会10名ほどのメン・メネットの熱烈歓迎を受け普段酒を嗜まない小生も「飲むほどに、酔うほどに」言葉は通じないままシェイクハンドと乾杯の連続で台湾料理、紹興酒を堪能しました。



8月4日大会初日(グランドホテル)

14:00開会 参加者約743名(日本人184名・台湾人246名)24の国と地域による参加(注ロースターによる)フラッグセレモニーに始まり新旧国際会長の引継ぎ式 etc. 厳かな中淡々と進み Dr. Kuan-TsaeHuangによる記念講演は余りにも難しく理解不可能の為省略、18:40より前国際会長主催の晩餐会、来賓紹介・挨拶、RBM(ロールバックマラリア)表彰 etc. 長く続き其処かしこのテーブルではビールで乾杯が始まる始末、食事が始まってから食前の祈りと何かちぐはぐで整然と物事を運ぶ日本人としては理解できない出来事でした(やはり挨拶等は短い方が良いのではと思います)学生による台湾古典のパフォーマンスはとても素晴らしいものでした。蛇足700名を超える参加者

のため会場に円卓が並べ切れず一部の台湾メンバーは廊下に並べた円卓で食事。



8月5日(グランドホテル&エキスポドーム)

今回の目的である南山クラブ・ベータークラブ・サーインチョンクラブとのトライアングル交流の日です。我々4名はプログラムには参加せず浅井メンの案内で市内を散策地下鉄に乗り土産を買ったり、お茶をしたり、台湾大学に行ったり気ままに過ごしました。(在名他クラブのメンバーも我々同様気まように過ごしたようです。念の為)

エキスポドームで国際副会長主催の晩餐会に参加後、邱さんの案内でトライアングル交流の会場へ。ベータークラブ19名のメン・メネット・コメント、サーインチョンクラブ16名のメン・メネット、南山クラブは4名でバランスが悪いと心配していましたが川口中部部長・川本中部部会計・荒川直前中部部長、名古屋クラブから参加の義井さん・山本さん・加藤さんを変えて計10名でトライアングル交流ではなく5クラブ交流ここでも「飲むほどに、酔うほどに」シェイクハンド、乾杯の連続大変楽しくワイワイガヤガヤ最後プレゼント交換をしてお開きとなりました。蛇足南山の4名と義井・山本・加藤さんは邱さんの案内でナイトクラブに行きダンスを楽しみました。



8月6日（エキスポドーム）

午前中のプログラムには参加せず我々4名邱さんの案内で「亀山島」に行くことになり、ホテルAM7:00の出発です。パスポートが必要で観光船に乗り途中「イルカ」の歓迎を受け島に上陸です。現在「軍」が管理をしており坑道を抜けるとトーチカがあり大砲が鎮座して貴重な経験でした帰路の途中邱さんの知人が経営する「日本海鮮料理店」で昼食これでもかこれでもかと思うほどの「海鮮料理」に舌鼓をうち午後のプログラム「Half-Day-Tours」に参加「北投温泉博物館」、「地熱谷」の迫りに圧倒されました。

エキスポドームでの国際会長 Joan-Wilson 主催の晩餐会では食前の国際会長所信表明は大変長く、30～40分は続いたでしょうか（少々間延びした感は小生だけでしょうか）、その後の飲みや歌えや踊れやで会場は大盛り上がり楽しい時を過ごしました。

8月7日 大会最終日（エキスポドーム）

聖日礼拝、クロージングセレモニー、2018年韓国YEOS（全羅南道・麗水市）大会のアピールがあり2年後にまた会いましょうの呼びかけで全プログラムは終了、閉幕しました。

国際大会全般に台湾ワイズメン・メネット・コメントの総力で743名超の参加者を上手くまとめ飽きさせることなく無事閉幕出来たことに拍手を送ります。先述したように挨拶、所信表明等々に時間を取られ間延びしてしまったことは少々残念でした、これも国民性の違いでしょうか。

IBCについては台湾ベータークラブ皆さんのお陰で久々に韓国サーインチョンクラブとのトライアングル交流が出来たこと、最初から最後まで邱さんが我々4名のリクエストに答えてくれて独自のプログラムを作ってくれ同行してくれたことに大変感謝しています。来年2月頃仕事の関係で来日されるとの事熱烈歓迎したいものですがとてもその真似は出来ず、やはりIBC交流はメンバー全員が共有して始めて出来ることだと再認識をしました。2018年韓国で国際大会が開かれます。政府間レベルではギクシャクしていますがワイズメンは関係ありません。メンバー全員でワイズメンズクラブ韓国YEOS（全羅南道・麗水市）国際大会に参加し又トライアングル交流をしたいものです。

### 8月第一例会報告

日時：8月11日（木） 11:30～13:30  
場所：ラ・スース・いずみ

出席：浅井、荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾森本

ゲスト：川口中部部長、川本、義井（名古屋クラブ）  
荒川（グランパスクラブ）

11日（海の日）に開催された8月第一例会は川口中部部長の公式訪問の例会でもあり、まず中部部会へのアピールを頂きました。ランチの後のメインプログラムは、8月4日より台北で行われた国際大会の報告会ということで、参加された都築、近藤、浅井の皆さんから色々楽しいご報告を頂きました。スライドを見ながらの大会報告は、大変楽しいものでした。IBCの件では、台北、新仁川、南山とのトライアングル交歓会は日本の中でも珍しい関係です。このところ有名無実になりがちなIBCをトライアングルで持ち続け、こういった国際大会の場で交歓会が持てるのは素晴らしいことです。新仁川との関係が韓国ワイズメンの関係で少し途絶えていましたがこの台北で再び交歓できたことは喜ばしい限りでした。新仁川、台北両クラブからは、多大なお土産を頂きました。聞くところによれば、2018年の国際大会は、韓国とか、また皆で韓国を訪問出来たらいいな、と思う次第です。

参加頂いた3名のメンバー、それ以外に交歓会等ご協力頂いた名古屋、グランパスのメンバーの方々有難うございました。



### 8月第二例会報告

日時：8月18日（木） 19:00～20:00

場所：南山YMCA

出席：浅井、荒川、小林、近藤、杉山、都築、東田森本

1. 9月一例会案内、中部部会の確認。
2. YMCA大会について
3. 十勝ジャガイモ、ワイズコーンについて
4. その他

## 第20回 中部部会報告

日 時：8月28日（日） 12:30～16:30

場 所：名鉄ニューグランドホテル

出 席：浅井、荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾

第20回中部部会が西日本区各地、中部各クラブより約130名が参加し楽しい一時を持ちました。

部会開会に先立ちメネット会が開催され、当クラブからは浅井君が参加しました。12時受付開始でしたが、もうかなりの人が登録をしていてあちこちで旧交を温めたり、楽しい話に花を咲かせたりと部会ならではの晴れやかさが見られました。

川口中部部長の開会点鐘で会は始まり、ワイズソングの後、開会祈祷、西日本区役員の紹介があり、来賓挨拶で一部が終了するはずでしたが、メイン来賓の河村名古屋市長の到着が遅れ式次第が変更されるハプニングもありました。又、遠藤直前理事から台北での国際大会に於いて、荒川直前中部部長がエルマークロー賞を受賞されたことが披露され、記念の盾が贈られました。

第二部の基調講演では、初代NGO大使の五月女光弘氏より「国際協力の意義」と題して講演をして頂きました。国際協力はワイズ運動の根幹の一つでもあり中々有意義な話でした。外務省NHO大使とは初めて耳にする言葉で何をする人かと思った次第ですが、外務省が持つ色々な資料、情報を必要とするNGOに提供する役を持つ大使ということでした。国としてODAを通して諸外国に協力することが日本の海外援助の大きな柱ですが、歴史を振り返ってみれば日本諸外国に助けて貰っている国であり、そのお返しをしているのに過ぎなのです。国の安全は、軍事力ではなく協力と援助を中心にしたものであるべきです。アセアン内での日本の評価は高く今後もこの高い評価を受け続ける必要があります、これまでの歴史の中で培ってきた援助、恩義を基に未来を見つめたい、と締めくくられました。



ました。

第三部の懇親会では、テーブルを渡り、歓談するワイズ、思い出話やクラブの未来、現状を話し合うワイズと色々な話題が飛び交い本当に楽しい会でした。部会、区大会、国際大会等の大会に参加し、新しい風を感じるこそワイズ活動の楽しみでもあり、それがさまざまな援助、協力を繋がっていくのだとしました。

## 農場報告

8月8日猛暑のなか ラ・パンの皆さんがマイクロバスで来演されました。テント二張り、超豪華料理、ワインなど完全体制で楽しみました。11時2分には、長崎原爆のために黙禱を捧げられ、感動しました。大人10名その他小学生、幼児など総勢16名程でした。



例会出席表

		国 際 大 会	8 / 11 第 一	8 / 15 第 二	中 部 部 会
1	浅井 昭和	○	○	○	○
2	荒川 文門		○	○	○
3	小林 滋記		○	○	○
4	近藤 豊	○	○	○	○
5	杉山 弘時		○	○	○
6	都築 正和	○	○	○	○
7	東田 美保			○	
8	深尾 俊雄		○		○
9	森本 征夫		○	○	